

1. 科目名 (単位数)	日本語学演習Ⅰ (文法・文体) (2単位)	3. 科目番号	EJJP3323
2. 授業担当教員	落合 哉人		
4. 授業形態	講義、演習、グループ討議等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語学Ⅲ (文法・文体)」を必ず受講しておくこと。		
7. 講義概要	日本語教育では、日本語の文法・文体に関する知識を理解していることが重要である。そこで、「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「初等・中等教育で用いられる国文法 (学校文法)」の違いを認識しつつ、外国語として捉えた日本語の文法・文体についてさらに知識を深める。また、授業を通して学んだ知識を、日本語を教える際にどのように応用すればよいか考える。		
8. 学習目標	1. 「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「国文法」の専門用語の違いが理解できる。 2. 日本語の文法・文体における特徴や規則について基礎的な知識が説明できる。 3. 日本語の文法・文体について日本語教育でどのように教えるとよいか考えることができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	(1) 各回の発表担当者は、発表資料を作成すること (箇条書きは禁止、引用は適切に行うこと)。 (2) 各回の非発表担当者は、あらかじめ教科書の内容を踏まえて疑問点を用意すること (用意した疑問点は授業内において適宜発表を求める)。 (3) 期末レポート: 自分の担当回の内容について初級～上級のいずれかの日本語学習者がどのように習得する項目であり、日本語教師が効果的な習得のため、どのような教え方をするとよいかA4、1枚でまとめる。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】名古屋大学日本語研究会 GA6『ふしぎ発見!日本語文法。』三弥井書店、2007		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「国文法」の違いが理解できたか。 2. 日本語の文法・文体における特徴や規則について基礎的な知識を説明できるようになったか。 3. 日本語の文法・文体をどう教えるとよいか考えられたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 課題 (ワークシート、発表等) 総合点の30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の40% 上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮した。		
12. 受講生へのメッセージ	一口に「文法」と言っても日本語を教える際に問題となる文法項目は多岐にわたり、それぞれの項目が独自の論点 (=教える際に問題となりうる点) を持っています。この授業では、みなさんからの発表及び質疑応答を通して日本語の「文法」にどのような論点があるか体系的に学びを深めていきます。		
13. オフィスアワー	授業内で知らせる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション: 授業の進め方について	事前学習	教科書の目次を確認し、第6回～第16回及び第19回、第20回、第22回のうち、どの章のテーマに興味があるか考えておく。
		事後学習	「中納言」を使えるようにしておく。
第2回	述語と項 (教科書第6回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第3回	自動詞・他動詞 (教科書第7回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第4回	動詞分類とテンス・アスペクト (教科書第8回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第5回	受け身 (教科書第9回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第6回	ら抜き・レタス・さ入れ (教科書第10回)	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。

第7回	補語・名詞修飾（教科書第11回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第8回	話し手の認識に関わる表現（教科書第12回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第9回	命令・禁止と疑問の表現（教科書第13回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第10回	つなぐ言葉と条件表現（教科書第14回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第11回	副詞のさまざま・連用修飾（教科書第15回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第12回	語用論（教科書第16回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第13回	さまざまな視点と制限（教科書第19回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第14回	コソア・ダイクシス（教科書第20回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。
第15回	「は」と「が」にまつわる話（教科書第22回）	事前学習	発表担当者はレジュメ作成&発表の準備。その他の受講者は疑問点をひとつ以上用意。
		事後学習	授業で扱った内容について日本語教育との結びつきをさらに調べる。